

科目	地域療養を支える 制度と社会資源	時期	2 年次前期	単位数	1 単位	実務経験
		担当教員	上野 真佐美 山本 友里恵	時間数	15 時間	○
目的	地域・在宅看護に関する制度や地域包括ケアシステムの基礎的知識を踏まえ、訪問看護の制度と機能を理解する。 さらに多職種連携を基盤としたケアマネジメントと療養移行支援を理解する。					
目標	1. 看護の対象が暮らす地域の社会資源活用における看護師の役割を理解し、実践に向けての支援が説明できる。 2. 地域療養を支える必要な制度の概要について説明できる。 3. ケアマネジメントの目的と機能を理解し、マネジメントの方法について説明できる。					
学習内容	1. 地域ケアシステムと多様な生活の場における看護 ・地域ケアシステム ・療養の場に伴う看護 ・医療施設や介護施設との連携 2. 在宅看護におけるケースマネジメント/ケアマネジメント 3. 地域医療を支える制度と他職種連携① ・社会資源とは ・社会資源の活用における看護師の役割 4. 地域医療を支える制度と他職種連携② ・医療制度 ・後期高齢者医療制度 ・介護保険制度 ・権利擁護 ・生活保障制度 5. 地域医療を支える制度と他職種連携③ ・障がい者に関する法律 ・難病法 ・子どもの在宅医療を支える制度と社会資源 6. 在宅療養を支える訪問看護① 訪問看護の目的、制度、実施機関、法的責任 訪問看護師の役割 7. 在宅療養を支える訪問看護② 訪問看護サービスの展開					
授業形態	講義					
教材	ナースিং・グラフィカ 地域療養を支えるケア 地域・在宅看護論(1) メディカ出版					
評価	終講試験 50 点 演習・レポート 50 点					